

高齢ドライバーの踏切事故の要因解明

井上貴文 佐藤文紀 小野間統子 北村康宏 中村竜

60歳以上の自動車ドライバーによる踏切事故は46%で、交通事故での割合26%よりも大きくなっています。また、遮断機のある踏切で60歳以上のドライバーが起こした事故の原因の1番は「停滞」です。「停滞」は、踏切から出る前に遮断かんが降りた、前方の渋滞などにより、自動車が踏切内に停滞していたことによる事故です。

高齢ドライバーが「停滞」による事故を起こしてしまう要因を明らかにするために、高齢ドライバーと若いドライバーとを対象に、WEB調査、1つの屋外実験と2つの室内実験を行いました(前者2つの結果を図に示します)。その結果、高齢ドライバーは、踏切に入る段階における先行車との間隔は

問題ないのですが、警報に気づかない傾向があることが分かりました。また、遮断かんに閉じ込められてしまった際に、遮断かんを手で上げようとする傾向、非常ボタンを押した後、踏切内に戻ってしまう傾向があることが分かりました。

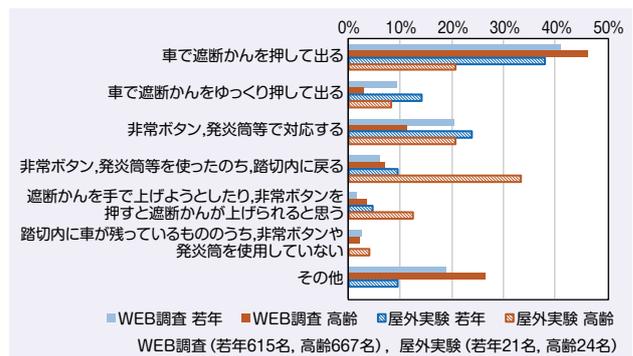


図 踏切に閉じ込められた際の対処方